

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ⑧ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所事務所に掲示している。理念に基づく介護を共有して行っているが、十分にできているとは言えない。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている ⑨ あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会活動で街路樹の花壇作りは例年継続し役割があり、利用者と一緒に花壇のお花を植えている。今年は夏祭りに1名のご利用者は経過観察にて参加できなかったが、他ご利用者は参加し地域の方とのふれあう機会ができた。日常においては散歩の機会を設けており、地域の方とはご挨拶などは行っているが、頻度としては少ない。	職員不足が言われている中、地域や行事など参加することは難しくなっているのではないのでしょうか。しかしながら地域の方との出会いを設けることは良いと思う。とても良いと思います。地域の方への挨拶から一歩と考えると参加回数が増えることを願います。 最近、暑い日が続く熱中症の恐れもあるので致し方ない面もあると思う。毎年継続できることは、限られるので現状維持で良いと思います。 事業所の方から積極的な行動対応をした方が良いと思う。地域の行事や町内での困りごとに対して協力できたらよいのではないのでしょうか。 町内会の行事に利用者様が参加できる場を作ることも町内会の役割であると思う。また、ご利用者「認知症」に対し町内会及び近隣の住人の理解を得るために勉強会等行ってはどうか？ 町内会への夏祭りのスタッフのボランティア、利用者の参加などは継続しており、今後も運営推進会議での情報交換しながら、他のイベント等にも関われば良いと思う。平時の繋がりから災害時対応の連携に繋がっていくので、ひとつひとつ地域との付き合いを重ねていただきたい。町内のゴミ拾いや花壇整備など顔を知る機会にならないでしょうかね。		



					きずなと合わせて事業所全体として七夕まつり等の機会を町内会としておこなえると多くの利用者と地域の繋がりを増加させられると思います。利用者が社会における役割を待つ機会を作るためにも元気な方を中心に地域ボランティア活動に少しでも参加してもらうような試みも一つの方法と考えます。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を2ヶ月に1回開催事業活動や状況報告をし、地域や関係機関の方々に、ご意見をいただき、日々の事業所の、サービスの向上に努めている。 昨年は、町内役員の方とBBQ開催時きていただき交流することもできた。	引き続きそのような交流を続けてほしいと思います。運営推進会議に出席したことはありませんが、今後も継続して欲しい。 積極的に意見交換ができてよいと思います。 会議に来ていただき、内部の様子を直接感じていただくこと自体に意義があると思います。 事業所より報告を受け、運営推進会議に参加する構成員も意見を伝えやすい会議運営をなさっていると思う。 状況報告の中に入居者の皆さんが日常生活していく中、特に大変喜んだことや嫌になったことなどを取り入れて報告してはどうか。 内部イベントを地域に開く際に運営推進会議がさらに活用できると思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が行政担当者や関係機関と連絡を取り、手続きや必要な支援をしている。また、計画作成担当者は生活保護担当者や関係機関との利用者の情報共有を行い、支援に努めている。	行政との関わりや手続きなど管理者が行ってくれていると、家族としては信頼でき任せられます。 引き続き行政や関係機関との連携は大事なことでこれからも続けてほしい。 これまでの運営推進会議では市町村担当者との連絡等内容について直接かわる機会がなく判断できない。 特になし。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体	A. 十分にできている ② ほぼできている	法人内で身体拘束適正化委員会を設置し、年2回の研修開催や身体		A. 十分にできている ② ほぼできている	一人ひとりに対して話を聞いて納得するように話をしてくれていると思います。研

		的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	拘束の指針など更新作成している。委員会では事業所毎の内容報告を行ったり、事業所間の視察を行い、身体拘束をしないケアの取り組みを行っている。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	修参加や委員会による視察が行われているのは良いと思います。 身体拘束、虐待防止については管理者より説明を受けておりますし、病院の付き添いできている職員からも説明を頂いており、安心してお任せしております。 (6も同様意見) 在ってはならないことだと思います。訪問時、見かけたことはなく、状況報告などでもない様なので安心しています。 取り組みを行っていることは分かりましたが、どのような実践をしているのかが判断できかねます。 研修等適切に行われている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度より委員会を法人内で設置。定期的に委員会を開催。外部研修参加や伝達講習で学び知識の理解に努めていきたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少ない職員の人数で良くお世話をして下さっていると思います。(家族でも大変なのに頭が下がります)外部研修参加含めて実施している方向性はよいと思う。 虐待は身体的にも精神的にも辛いもの。起きないように願っています。研修等の参加よろしくお願い致します。 虐待防止は知識だけではなく、就労環境も影響するので、併せて更なる工夫をされるので、防止効果をあげると思います。 定期的な委員会だけに必ずタイムリーな学びの情報共有を図っていただきたいと思う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用されている方はいるが、知識向上する機会が少ない為、今年度は勉強会を実施し、知識を深めていきたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居や退居、各ご利用者が大きく変更する場合はきめ細やかに情報共有を行い不安や疑問の解消ができるように努めている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来訪時や電話連絡時などでご意見やご要望を確認し随時対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話での対応に明確な対応をいただいている。少しのことで電話連絡して下さり、確認してくれている。家族との情報共有は十分できていると思われます。こちら側の要望を聞いて下さりご対応頂き感謝しています。来訪時なども話しやすく、対応してくれています。 どの程度運営に反映しているのか分からないので評価できません。 運営推進会議でも家族の意思が出されており、良いと思います。運営推進会議だけに限らず、外部の法人管理者にもしっかり現状や対応をつたえていただければと思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に職員からの意見や提案をきいており、カンファレンスや業務に反映できるようにしている。また、年に1回は個人面談の機会がある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就業規則は随時整備、閲覧できるように事務所に設置している。職員資格取得には助成の活用や公休や有休希望も反映されている。やりがいや向上心を持って働ける環境に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ルールの明文化と開示は良いと思います。 お休みや有休取得についてはわかりかねますが、訪問時やお電話での対応が職員の方の対応がとても丁寧でやりがいも持っているのではないかと思います。 資格取得以外にも外部研修参加できる機会などがあると良いと思います。 条件整備に努められていると思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修においては主に、ウェブ開催の研修参加や月1回、事業所内の勉強会で、知識を深めている。研修開催がある際は、管理者より通達している。資格取得にむけての研修参加者もおり積極的に取り組んでいた。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆さんテキパキと介護をしてくださっていると思います。トレーニングの機会が十分あると感じられます。契約に伺った際に別室で外部講師の方を招いて研修会をされていました。職員のみなさんが真剣に取り組まれていてとてもしっかりとした施設であると感じました。 職員の希望に応じて研修の参加があると、モチベーションに繋がると思います。

							感染対策の研修会においてもスタッフの皆さんから多くの質問をいただき、積極的な姿勢で取り組まれていることを確認しました。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他法人との交流会の機会がなくなり、再開の目処がたっていない状況。法人内の親睦会や交流会の再開が図られるようになり、対面での交流も期待したい。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人ができることを行い、職員と利用者様が生活の中で支え合う関係づくりを心がけて支援している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出支援やご家族の面会も、予約制での対応で継続している。外泊や外食や面会の機会も増えており関係がとぎれないように、支援に努めている。	管理や対応の手間は大変だと思いますが、これからも続けて欲しいです。 施設に入居したことで本人との面会機会がコロナなどで減ってしまい家族さんからの不安の訴えが聞かれることがあります。今後ともご支援の継続と家族が心配、不安に思っていることにも、もっと耳を傾けていただけると良いと思います。 コロナのこともありなかなか面会に行く判断も考えてしまう時もあります。 面会等も頻繁に行けず、職員の皆様の対応が頼りです。 親切な対応をしていただきありがとうございます。 十分対応していただいております。 このまま継続してください。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が意思決定できるような声がけを図り、希望や意向に添えるように支援している。意思決定が難しい利用者様へは本人の意向を踏まえ、家族に聞き取りや生活歴から職員間で汲み取り把握に努めている。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の心身状態の変化で家族や医療関係者と話し合いの場を持ち各々の意見や要望に合わせて介護計画に繋げている。	具体的で分かりやすい介護計画と評価が記載されていると感じました。 本人のお気持ちについての配慮はありますか？ なかなか家族では感情的になるが、間に入っていただき感謝している。 一人一人にあった介護計画でこれからも続けて行って欲しいです。 家族よりも職員さん達の方が、本人のことを把握していてくれ、変化等に対応してくれている。都度連絡を頂き助かっています。 「良りよく暮らす」というのは介護の観点だけではありません。残存能力を生かして生活することを地域とのつながりの観点からも検討する必要があると思います	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	細かい介護計画いつもありがとうございます。 温かな声掛けや入居している方たちに合わせた介護をして下さっている。介護計画の評価が具体的に記載されていて様子がよく分かる点は素晴らしいです。 介護計画書は日常生活や会話の内容などもよくわかり。一人一人をちゃんとみて下さっていると感じました。ちょっとした変化や対応の提案などもお電話いただけます。職員の方は細かいところまで目が行き届いていて、優しく対応してくれ、本人共々喜んでます。これからもよろしく願い致します。 「地域で暮らす」視点を介護計画の中に更に取り入れて行って欲しいと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ICT の活用その他の情報ツールを活用して情報共有している。記録については日々の様子について内容が不十分な面もあるがケアの実践や状態変化など、介護計画の見直しは行えている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報共有が確実に行われていると感じています。職員の方より食事量や水分量、体重や日常生活の様々な記録を携えていることを教えていただきました。写真も撮っていただいているので日々の生活の様子がよくわかります。 日々の記録や気づきがあって状態の変化に気付けると思います。忙しいとは思いますが、日々の記録の記載をお願いします。 3か月に一度の運営推進会議の内容しか共有されていないため、総合的に判断ができません。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は、法人の独自のサービスとして訪問リハビリは継続して実施しているが、訪問マッサージやボランティアなどの受け入れなどご利用者のニーズに合わせて支援を再開していきたい。	家族や本人の意見を尊重してください。 個人によってニーズはそれぞれ違うと思います。個別に全て対応するのは難しいとおもいますのでどのようなニーズにどの様に対応しているのか教えていただきたいです。リハビリやマッサージだけでは		

					なく他にはどのようなものがありますか？ 支援が再開できるようになって欲しいです。 提案になりますが、市社協のボランティア活動センターなど傾聴ボランティアもあるので社協に依頼して活用するののも一つの手段だと思います。 利用者のニーズは多様で難しいことも多いと思われ取捨選択も必要ですね。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会行事や活動(地域の清掃行事や夏祭り参加)野菜販売へはご利用者と共に行くことが再開できた。散歩が行きたいご利用者には可能な限り毎日おこなえるように希望に沿って支援はしている。近くのコンビニへは気軽に出かけるようになってきてはいる。	2.3.項目同様の意見です。(複数回答がありました) 評価でもよいのではないのでしょうか。 外にできる機会を増やすことは必要であるし、外出したいという意欲をもつことが大事であると思う。 コンビニまでは少し距離があると思います。これからも支援お願い致します。 町内会いきいきサロン、夏まつり出席頂きありがとうございます。今後も積極的に参加していただきたいです。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回もしくは2回の訪問診療を受けている。場合により他医療機関受診同行も実施し支援に努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者・計画作成担当者が中心となっているが、医療関係者と情報交換や連携をしながら、早期退院に向けた働きかけや連携を図っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院等したことがないのでわかりません。 認知症の方の入院生活は本人も混乱し、とても大変だと思います。医療従事者の方たちと連携をしてもらわなければ、難しいのではないかと思います。ちょっとした身体の変化や訴えに対応してくれ連絡いただけるので安心していきます。 問題なく実施できていると思います。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合は事前に早期の段階からご家族には意向を確認し、段階を見極めながら事業所、家族と主治医が話し合いを行い、治療方針や最期の過ごし方を共有し、職員間で共通認識をもち、関係機関と連携しチームケアになるように取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合の指針については、管理者より説明を受けました。主治医の治療方針に従いながら本人らしい最期が迎えられるのが理想ですが、急変した場合は希望書に沿っていただければ、ありがたくおもいます。 入居時にお話しましたが、年齢を増すにつれ気持ちの変化があれば、本人にも話していこうと思っています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会の開催は行えてはいるが、実践力を身につけることができるように知識向上ができるようにしていきたい。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ④あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練は年2回行っているが、その他地震水害等自然災害訓練の実施も新たに行わなければならない為、実施内容の検討をしている。今年度は近隣の方に参加協力が図れるように実施に向けて取り組みしたい。	本年度 2025 年 2 月ごろに丘珠連合町内会において防災訓練が予定されております。参加してはどうでしょうか。 最近は大雨や大きな地震などがあり心配なこともありましたが、近隣の方達と訓練していただけることは安心できます。災害に対する認識を高めどう行動したら良いかというのは民生委員の立場としても悩むところです。 運営推進会議も活用しながら地域連携を進めていただければと思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	なかなか一般家庭でも防災に対する取り組みができていないと思いますが、ましてや身体の不自由になってきているお年寄りに対する取り組みは大変です。近隣の方や町内の方たちと取り組んで欲しいです。災害時業務継続計画(BCP)はまず、必要最小限な内容で作成し、順次、修正するのがおすすめです。夜間職員が少ない中で全員避難というのは難しいと思います。職員の方の負担が相当大きいと思います。訓練や企画書で日頃から意識しておくことでしょうか。火災や自然災害は起きてほしくありません。お手伝いできることはしたいと思っています。 地域との連携を意識した災害訓練を町内会等と一緒に計画することが重要と考えます。 施設の中での防災マニュアルはあると思いますが、災害時は地域との連携も必要ですので町内会連合町内会での防災訓練があれば参加してみたいはいかがでしょうか。 災害対応や感染症は平時からの取り組

							みが大切です。施設職員だけでは災害規模によっては対応できないことが予想されます。これからも地道に地域活動への参加を通して交流の機会を増やしてもらいたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活において個々の人格を尊重しながら、声掛けや配慮した対応が行えている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	問題ありません。(他回答あり) なるべく、フランクに接してくださいとお伝えして職員のみなさんもその様に接して下さってるので本人も生活しやすいと思います。 訪問時は優しい声掛けに安心して見ております。 夏祭りの対応を拝見していてもここを十分に配慮している対応をされていると思いました。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活においてご希望や意向を尊重しながら声掛けにも自己決定できるように支援している。気分が乗らないときには休息を促したり、本人の体調に合わせて支援をしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の嗜好に合わせて補食やメニューを変更して提供したり、盛り付けや片付けなどは利用者と職員が一緒に行えるように支援している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実施していただいています。 誕生日には好きな食事やケーキを用意して百済里、利用者さん皆さん、満足されていると思います。本人から食事は完食している様で安心しています。片付けの食器拭きもしている様で喜んでおります。 楽しく、美味しい生活を豊かにする食事環境を作る意識が見えてよいと思います。 行事の食事の様子や町内会の夏祭りの様子を拝見させていただき、職員のみなさんが一人一人に気を配っていました。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の嗜好に配慮しながらその日によって個別に工夫した提供をおこなっている。食事が摂れないご利用者には補食提供したり、パン食にし			

				てみたり提供方法を変更している。 事業者のバランスの取れた献立と食材を使用して提供はしているが、固形物が難しい利用者にはソフト食を提供し負担なく摂取できるように対応している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科衛生士に口腔ケアの指導をいただきながら、各ご利用者の支援や不十分なところは声掛けにて行ったり、一部介助している。生活習慣もあることから毎食後の口腔ケアは全員実施はできてはいないが、必要性のある方には、拒否される日もありますが、毎食後の口腔ケアは実施できるよう対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯磨きの声掛けをいつもして頂いていると聞きました。本人は歯磨きが好きではない為、ご迷惑をお掛けしていると思います。 職員さんにお任せです。自分で滴ることは自分でして欲しい。本人の手の届かないところは専門(歯科)にお願いします。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合わせた排泄リズムや排泄される時間等、タイミングに合わせて、状況を見極めながら自立支援ができるように関わっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切に実施していただいています。 便秘気味なようで、薬を使ったり、工夫していただいています。お手洗いはとても清潔に保たれていました。本人は自分でトイレに行っていると自負がある様で、このままの状態が続いてくれるよう希望します。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実施時間は事業所側の都合で実施はしている。週2回以上入れるように支援しており、本人より今日はいりたいと希望がある際には希望に添えるよう対応はできている。身体状況によりシャワー浴で対応しているご利用者もおられるが、気持ちよく入ってもらえるように支援はしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活習慣の理解はしており、個々の生活を尊重し、日課に合わせて休息や活動(体操や個別運動)支援を行い、安眠になるよう支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬内容を職員間で確認できるようにしている。変更があった場合も申し送りや書面を通じ、共有ができている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ちゃんと管理して内服してくれています。 8月より既往の薬を服用することになりましたが、しっかり管理していただいて飲み忘れることなく、職員さんにお任せしています。(他回答者あり) 支援方法の改善が行われていると思います。 服薬に関する事故があった際も改善策を検討しそれを運営推進会議の中で報告している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴を踏まえて、ご自身の今できることを見出し、役割をもち、能力が発揮できるように支援している。	これからも支援お願い致します。 少人数でも競い合えるレク(モルック・ボッチャ)も高齢者には今人気があり、だれでもできるレクなど取り入れ時間を忘れて楽しむことができます。 楽しいことをどしどし提案して入居者の皆さんが生きがいを見つけてやって欲しいです。具体的にはどのような支援をしているのか？		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に沿って近隣への散歩や外出は行えており頻度も増えてきている。本人の希望に添って、散歩や近隣への買い物外出ができるように、感染対策を継続し、さらに増やしていきたい。	家族の支援も必要かと思っはいますが、出来るだけ行ってほしいです。 これからも支援お願い致します。(複数回答) 施設の中だけだと本人の気持ちが晴れないと思うので希望したときは外出ができるのはありがたい。 いきいきサロンにきてはどうでしょうか。 町内会のサロンの参加や空港緑地公園散歩、町内気老人クラブ参加もあります。少し遠くなりますが、さとらんどやもえれ沼公園も地域の方は利用しているのでよいと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所で金銭は管理しているが、個人によっては、希望に応じて、お金を所持し管理できるように対応している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話をしたいご利用者様には利用していただいている。手紙が届いた際には、状況に応じて、読み上げて対応している。友人から電話にてクラス会があり、対応したご利用者も居られる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関や共用空間は季節感を取り入れた装飾を行い、快適で心地よく過ごせるように、利用者様の関係性にも配慮した居場所や食席の配置を心掛け、日々工夫しながら支援に努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節毎の飾りつけをしており、とてもよいと思います。快適な空間になっていると感じます。 施設内は綺麗にお掃除をされています利用者さんの描いた塗り絵、季節のお花の飾りがあり、温かい雰囲気です。 本人が自由に動ける分、居室やリビングの家財付等目にしますが、季節感があり、落ち着きます。 装飾はありましたが、入居者の方が快適にすごせているのかは評価ができません。 人間関係も意識した家具配置、居場所の設定ができています。 施設内で過ごすことが多い利用者さんの為に装飾を施しているのを推進会議の際に拝見しておりました。利用者さんとの会話のきっかけにもなると思うので今後も継続をお願いします。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向を尊重しながら、状況に合わせて、生活支援を行っているが、生活リズムが崩れているご利用者もあり、整えるように支援を心掛けている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前情報で生活歴やご本人から確認を行い、ビールの飲みたい方には提供したり、散歩や体操がお好きな方には支援継続できる機会を多くもてるように支援している。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診や往診時等また適宜必要に応じて、訪問看護や主治医へ相談や助言いただき日々のケアや支援を行っている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要なケアが受けられています。体調の変化や本人の自覚症状を見聞きし対応してくれるので安心です。(他回答あり)通院の付き添い時も一緒に医師の話を聞いてくれるのでこころ強いです。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のペースに寄り添いながら、その日の気分や体調に合わせて、家事支援や園芸活動、散歩に行きたいご利用者には機会確保、時には休息などの支援に努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の際にこれまでご自身が大切にしてきたものやなじみの物は持参してもらえようにご家族に依頼している。ここでの生活でご自身が作成した物はリビングや居室に掲示している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のお気に入りの家具や置物などを持ち込むことができたので、本人も安心して部屋ですごせると思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意向や希望により、外出対応している。計画をたてるが、当日体調不良にていけないこともあった。今年は1名のご利用者が体調不良により参加はできなかったが、地域の夏祭りに参加することができた。季節のお花(花見など)は近隣の公園で鑑賞することはできています。	季節ごとの行事は利用者が楽しみにされていると思いますので引き続き継続支援お願いします。 どんどん参加させてください。 是非参加願います。 天候や体調にあわせて外出するかは気分転換にもなり良いことだと思う。 イベントなどの支援大変だとは思いますが、これからもよろしくお願い致します。 買物なども含めて行えているようですのでこのまま継続していただければよいと思います。地域連携が進めば、内容もさらに充実してくると思います。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、ご本人ができること、できないことを見極め、本人ができることを発揮し、楽しめるように支援している。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のその日の調子に合わせて、季節の創作活動や個別での塗り絵、家事支援の声掛けを図り、意欲につながる支援を心掛けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	環境に馴染んでこれているように思われます。 職員の方や入居者の方と普段通りのしゃべり方や冗談を言っているのを見ると、しっかりみなさんとコミュニケーションをとって楽しく暮らしていると感じます。お手伝いすることで、役に立っていると思うと、生きる張り合いを持って過ごしてもらう事を希望します。 活動の場面を地域内に更に拡大されることを期待します。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	頻度は少ないが、散歩に出かけた際には、利用者とともに職員は、地域の方にはご挨拶させていただいている。近隣の子供さんが怪我をなさり施設で対応させていただきました。近隣の方とも少しずつ交流の機会を増やしていきたい。	グループホームを利用されている方は自発的に地域交流をもつことが難い場合が多いと思うので可能な限りその機会を事業所が作っていただけたと思います。 近隣の人や子供たちと顔見知りになるとうれしく思います。 近隣の住民からご利用者様職員さんに気軽に話かけられるような雰囲気をつくることができればよいと思います。学童保育の子供たちと交流の場をもつこともよいかもしれません。 みずどり公園にはたまにみかけますが、ぜひ天気の良い時には散歩はよいと思います。 挨拶だけではなく、今後どのように交流の機会を増やしていきたいのか教えていただきたいです。 入居者が地域とどう関わっているかだと思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここは嫌いじゃないし、居心地は悪くないよ。なんかあればいつでも手伝うよ。時には涙ぐまれ、ありがとね。などおっしゃってくださる利用者さんも居られます。継続してご本人らしい生活が送れるように支援していきたい。	ご家族からも本人の気持ちや意向を確認する機会があればよいと思います。職員と利用者との信頼関係を構築されているとおもいますが、別の側面からご利用者の気持ちや意向があるかもしれません。 面会にいくと笑顔が多く明るい表情が多い。職員さんとの信頼関係が強くなって	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	母は穏やかに暮らしている様子で安心しています。これからもよろしくお願い致します。洗濯物をたたんだり、お茶碗を拭いたり、お手伝いすることはとても良いことだと思います。 感性豊かな職員の皆様に見守られていることがよく分かりました。

					きています。対応継続お願いします。 職員の皆様の声掛け等には感謝しかありません。よろしくお願いします。 能力に応じて何かお手伝いできるということはとてもよいことだと思います。 GH内は良好だと思いますので地域とのかかわりを増やすことでこの項目もさらに向上すると思います。		面会に行ったり、外食したりした帰りもすんなり GH に帰ろうとする姿を見ると、自分の家は優林なんだと自覚している様で嬉しく思います。 訪問時、家族に「この人にお世話になっているの」と教えてくれることがあります。信頼関係ができているんだと喜んでいます。ありがとうございます。 地域とのかかわりを増やす工夫がもう少し増やせるとより良くなると思います。 9 月 19 日 BBQ で予防センターが参加させていただいた時に利用者さんと少しお話させていただき北見出身の方で玉ねぎを作っていたと聞きました。職員さんとのやり取りを聞いて収穫したお芋を参加者に配っていました。利用者さんの得意な所を引き出してくれているんだと感じました。
--	--	--	--	--	---	--	--